

まちづくりの目標	4	暮らしにやさしく笑顔があふれるまち		
政策	3	誰もが安心していきいきと暮らすことができるまちにします		
施策	2	高齢者が地域で自立し生活できるまちにします	担当部(統括部)	保健福祉部

【実現している姿】

目標	認知症の人とその家族が安心して地域で暮らすことができます。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)
目標	多くの市民に地域包括支援センターなどの相談窓口や各種サービスが知られ、利用しやすくなっています。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)
目標	自ら介護予防や健康づくりに取り組む人が増えています。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)

実現している姿を確認する指標

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
認知症サポーター数(養成講座受講者数)	目標	—	—	—	1,100人	1,400人	1,700人	2,000人	2,300人	2,400人	2,500人
	実績	441人	629人	881人	1,347人	1,571人					
地域包括支援センターへの相談件数	目標	—	—	—	260件	270件	280件	290件	300件	310件	350件
	実績	191件	244件	244件	254件	252件					
健康づくり自主グループの数	目標	—	—	—	35グループ	36グループ	45グループ	50グループ	55グループ	60グループ	50グループ
	実績	28グループ	31グループ	34グループ	37グループ	42グループ					

【施策の展開】◎は重点的な取組み

◎地域ケアの体制の強化							平成26年度事業費計 2,147千円
高齢者に対して、地域住民が温かく思いやりを持って見守りを行うことができるよう、地域ケア・高齢者虐待防止ネットワークの機能を強化します。							
平成26年度事業	◇高齢者権利擁護事業1,848千円・◇認知症・介護支援事業299千円(高齢介護課)						
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	第4期実施計画期間 平成27年度		平成28年度	後期終了年度 平成32年度
計画	ネットワーク活動の拡充	地域ケア会議の立ち上げ	ネットワーク活動の評価、再編	ネットワーク活動の推進	ネットワーク活動の推進	ネットワーク活動の評価	
取組実績	地域ケア・高齢者虐待防止ネットワーク会議(代表者会議、実務担当者会議、ネットワーク連絡会)において、地域ケアに係る事例について、関係者が集まり情報収集・共有を行い、対応についての協議を行った。						
成果	個別事例への対応だけではなく、地域全体での取り組み・連携の必要性について共有することができた。						
次年度課題	地域ケア会議を中学校区ごとに立ち上げるために、関係機関との調整を図っていく必要がある。						
計画	認知症支援プロジェクトによる事業の拡充	認知症支援プロジェクトによる事業の拡充	認知症支援プロジェクトによる事業の評価	認知症支援プロジェクトによる事業の実施	認知症支援プロジェクトによる事業の実施	認知症支援プロジェクトによる事業の評価	
取組実績	認知症の方や家族に必要な支援策について企画・立案を行うためプロジェクト会議を12回開催した。						
成果	社会福祉協議会・介護保険事業者・ボランティアグループとの協働により、サロン活動として「なつかしカフェ」を開催した。また、認知症高齢者等徘徊SOSネットワークを立ち上げた。						
次年度課題	プロジェクトメンバーの1人ひとりが主体的に事業を行うよう、意識の向上を図る必要がある。						

◎認知症の人に対する取組みの強化						平成26年度事業費計 344千円	
認知症に対する正しい知識の啓発活動を行います。また、認知症の人やその家族を支援するサービスを創設します。							
平成26年度事業 ◇認知症・介護支援事業299千円・◇認知症高齢者徘徊SOSネットワーク事業45千円(高齢介護課)							
			第4期実施計画期間			後期終了年度	
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	サポーター養成講座の実施	サポーター養成講座の実施	サポーター養成講座の評価	サポーター養成講座の実施	サポーター養成講座の評価	サポーター養成講座の評価	
取組実績	認知症について正しい知識の啓発をするため、サポーター養成講座を9回開催した。						
成果	208人の方に認知症について正しい知識を習得していただくことができた。認知症サポーターは合計1,571人(キャラバンメイト含む)となった。						
次年度課題	サポーター養成講座を、幅広い年齢層の方々に受講していただくように工夫する。						
計画	ボランティア養成講座、ボランティアの育成・支援の拡充	ボランティア養成講座、ボランティアの育成・支援の拡充	ボランティア養成講座、ボランティアの育成・支援の評価	ボランティア養成講座、ボランティアの育成・支援の実施	ボランティアの育成・支援の実施	ボランティア養成講座、ボランティアの育成・支援の評価	
取組実績	今後の認知症支援ボランティアグループ養成講座について、認知症支援プロジェクトチーム内で検討を行った。						
成果	安威川以北でボランティア養成講座を実施することが決定した。また、鳥飼東公民館でも認知症支援ボランティア養成講座を実施することとした。						
次年度課題	安威川以北でのボランティアグループの立ち上げを行うこと。ボランティアグループ会員を増やすこと。						
計画	徘徊のおそれがある高齢者の把握と対象者の早期発見のための情報伝達体制の構築	徘徊のおそれがある高齢者の把握と対象者の早期発見のための情報伝達体制の充実	徘徊のおそれがある高齢者の把握と対象者の早期発見のための情報伝達体制の実施	徘徊のおそれがある高齢者の把握と対象者の早期発見のための情報伝達体制の実施	徘徊のおそれがある高齢者の把握と対象者の早期発見のための情報伝達体制の実施	徘徊のおそれがある高齢者の把握と対象者の早期発見のための情報伝達体制の評価	
取組実績	認知症高齢者等徘徊SOSネットワークの立ち上げにむけて関係機関との協議を重ねた。						
成果	平成25年2月に、関係機関や協力事業者による、認知症高齢者等徘徊SOSネットワークを立ち上げた。						
次年度課題	認知症高齢者等徘徊SOSネットワークについて、ホームページ等を利用し、周知・活用促進を図っていく。						

◎相談支援事業の充実						平成26年度事業費計 61,324千円
コミュニティソーシャルワーク事業と一体的に取り組み、関係機関・団体との連携を強化するとともに、高齢者の総合相談窓口としての地域包括支援センターの機能を強化します。						
平成26年度事業	◇包括的地域支援事業61,324千円(高齢介護課)					
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	第4期実施計画期間 平成27年度 平成28年度		後期終了年度 平成32年度
計画	地域包括支援センターの移転を契機とした相談機能の拡充	地域包括支援センターの相談機能の実施	地域包括支援センターの相談機能の評価	地域包括支援センターの相談機能の実施	地域包括支援センターの相談機能の実施	地域包括支援センターの機能の評価
取組実績	各公共施設への地域包括支援センターに係るリーフレット配置などにより、移転を契機として、周知に努め、相談機能の拡充を図った。					
成果	地域福祉活動支援センターへの移転に伴い、窓口での軽微な相談が減少した中で、相談件数の総数が前年度と遜色ないものとなった。					
次年度課題	地域包括支援センターの機能と高齢介護課の機能のそれぞれを明確にし、地域包括支援センターの機能拡充を図る。					

○介護予防、健康づくりの推進						平成26年度事業費計 16,491千円
要支援・要介護状態になる恐れがある高齢者などに対する介護予防をより充実させるとともに、地域福祉活動拠点や公民館など既存施設を介護予防の拠点として利用促進します。また、「摂津みんなで体操三部作」の普及や自主グループの育成・支援などを進めます。						
平成26年度事業	◇通所型介護予防事業2,000千円・◇地域介護予防活動支援事業550千円(高齢介護課) ◇健康せつ21推進事業9,056千円・☆まちごとフィットネス！ヘルシータウン事業4,885千円(保健福祉課)					
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	第4期実施計画期間 平成27年度 平成28年度		後期終了年度 平成32年度
計画	「はつらつ元気アップ教室」の継続実施	「はつらつ元気アップ教室」を「はつらつ元気でまっせ講座」に再構築、PR活動	「はつらつ元気でまっせ講座」の継続実施、評価	「はつらつ元気でまっせ講座」の実施	「はつらつ元気でまっせ講座」の実施	「はつらつ元気アップ教室」の評価
取組実績	はつらつ元気アップ教室を地域の集会所等、5か所で開催。(市場公民館 17名、第20集会所 14名、鶴野会館 12名、鳥飼下会館14名、ふれあいの里 11名参加。)					
成果	はつらつ元気アップ教室を5か所で開催し、自主グループ化に向けて支援した結果、4グループが新たに立ち上がった。					
次年度課題	行政主導ではなく、市民主導の講座に変更し、参加者の意識を上げる。多くの実施希望の声があがるように、PR活動を行う。					
計画	いきいき体操の会による体操三部作の普及活動の支援	いきいき体操の会による体操三部作の普及活動の実施	いきいき体操の会による体操三部作の普及活動の評価	いきいき体操の会による体操三部作の普及活動の実施	いきいき体操の会による体操三部作の普及活動の実施	いきいき体操の会による体操三部作の普及活動の評価
取組実績	いきいき体操の会がはつらつ元気アップ教室や市民体育祭等で体操三部作の普及活動を行った。					
成果	今まで声のかかりにくかった老人クラブの集まりからも声がかかるようになり、体操三部作の広がりが見られた。					
次年度課題	いきいき体操の会に頼らなくても活動できるよう、グループの自主化に向けての支援の方法を検討する。					

	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	グループ交流会・研修会の支援の拡充	健康づくり・介護予防グループの支援の実施	健康づくり・介護予防グループの支援の評価	健康づくり・介護予防グループの支援の実施	健康づくり・介護予防グループの支援の実施	グループ交流会・研修会の支援の見直し
取組実績	関係団体と連携を図り、健康づくりグループ交流会を春と秋の2回開催。(春:113人参加、23グループ参加。秋:450人参加、20グループ発表。)					
成果	健康づくりグループ交流会において、他のグループの前で活動発表する機会がある事を意識してもらうことで日々の活動意欲向上につながった。また、企画運営に関して、いきいき体操の会を中心とした健康づくりグループの自主性の向上が見られた。					
次年度課題	新たな健康づくりグループの参加促進を図る。					
計画	健康づくり推進リーダー養成講座の開催	健康づくり推進リーダーの活動支援とまちごとフィットネス！ヘルシータウンせつ事業の実施にあわせ、ウォーキングリーダー(自主グループ)の育成を実施	まちごとフィットネス！ヘルシータウンせつ事業の実施にあわせ、ウォーキングリーダー(自主グループ)の育成を実施	まちごとフィットネス！ヘルシータウンせつ事業の実施にあわせ、ウォーキングリーダー(自主グループ)の育成を実施	まちごとフィットネス！ヘルシータウンせつ事業の完了にあわせ、ウォーキングリーダーの自主的活動を推進	健康づくり推進リーダーが、食や運動関係だけでなく、他の健康づくりにも活動を拡大
取組実績	乳幼児期から食の大切さを伝えるため、育児相談の場で食育をテーマにしたエプロンシアターを3回実施、地域での取り組みについての学習会1回、企画・運営などの会議を3回開催した。					
成果	13名の会員、自主グループ「食育スマイル」を設立した。					
次年度課題	「食育スマイル」グループの地域での活動の場を広げていくとともに新たな健康づくり推進リーダー養成講座を開催する。					
計画	体操指導に人材の派遣やグッズの貸し出しを行い、活用状況により今後の活動を検討	体操の実施やグッズの活用地域状況を分析	新たな支援体制づくりやグッズを活用した支援策を展開	地域やグループが健康体操を継続できるように支援	地域やグループが健康体操を継続できるように支援	全小学校区で健康体操を実施するグループが結成されるように支援
取組実績	体操DVD等グッズの貸出を14団体に実施した。また、体操三部普及のために市民体育祭などで保健師が市民に向けて体操指導を行った。					
成果	新規で借りる団体も増えた。また本年度貸出物品の補充を行うほど、貸出物品の追加や期間延長を求める団体も多く、活動が活発になった。					
次年度課題	貸出物品グッズの貸出希望が多く、効率的に利用していただくための管理方法を検討する。					
計画	地区運動会における「摂津みんなで体操三部作」の未活用地区に活用案内	地区運動会における「摂津みんなで体操三部作」の新たな活用地区に支援	地区運動会における「摂津みんなで体操三部作」の新たな活用地区に支援	全地区の運動会で摂津みんなで体操が実施されるように支援	全地区の運動会で摂津みんなで体操が実施されるように支援	全地区の運動会で摂津みんなで体操が継続できるように支援
取組実績	昨年の6地区に加え、新たに味舌地区市民体育祭にて体操を実施した。					
成果	地区市民体育祭で摂津みんな体操三部作の取組活動が広がった。					
次年度課題	「摂津みんな体操三部作」の未活用地区に対し普及・拡大の方法を検討する。					

【摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと】

認知症の人とその家族への支援						平成26年度事業費計 299千円
認知症に対する正しい知識の啓発として認知症サポーター養成講座を開催するとともに、認知症の人とその家族を支援する事業に取り組みます。						
平成26年度事業 ◇認知症・介護支援事業299千円(高齢介護課)						
	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	認知症サポーター養成講座など、認知症の人とその家族を支援する事業を拡充	認知症サポーター養成講座など、認知症の人とその家族を支援する事業を拡充	認知症サポーター養成講座など、認知症の人とその家族を支援する事業の評価	認知症サポーター養成講座など、認知症の人とその家族を支援する事業を実施	認知症サポーター養成講座など、認知症の人とその家族を支援する事業を実施	認知症サポーター養成講座など、認知症の人とその家族を支援する事業を拡充
取組実績	認知症について正しい知識の啓発をするため、サポーター養成講座を9回開催した。また、認知症高齢者等徘徊SOSネットワークの立ち上げにむけて関係機関との協議を重ねた。					
成果	208人の方に認知症について正しい知識を習得していただくことができた。認知症サポーターは合計1,571人(キャラバンメイト含む)となった。また、平成25年2月に、認知症高齢者等徘徊SOSネットワークを立ち上げた。					
次年度課題	サポーター養成講座を、幅広い年齢層の方々に受講していただくように工夫する。また、認知症高齢者等徘徊SOSネットワークについて、ホームページ等を利用し、周知・活用促進を図っていく。					

地域ケア・高齢者虐待防止ネットワークの機能強化						平成26年度事業費計 1,848千円
小学校区ごとに地域会議を開催し、介護予防や高齢者の権利擁護についての啓発を行うとともに、住民からの相談を受け、早期に対応します。						
平成26年度事業 ◇高齢者権利擁護事業1,848千円(高齢介護課)						
	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	地域ケア・高齢者虐待防止ネットワークの機能を強化し、虐待事例に早期に対応	地域ケア・高齢者虐待防止ネットワークの機能を強化し、虐待事例などに早期に対応	地域ケア・高齢者虐待防止ネットワーク会議について検討。	新たな地域ケア・高齢者虐待防止ネットワーク会議の実施。	新たな地域ケア・高齢者虐待防止ネットワーク会議の実施。	地域ケア・高齢者虐待防止ネットワークの機能を強化し、虐待事例に早期に対応
取組実績	地域ケア・高齢者虐待防止ネットワーク会議(代表者会議、実務担当者会議、ネットワーク連絡会)において、虐待が疑われる事例について、関係者が集まり情報収集・共有を行い、対応についての協議を行った。					
成果	委員から市の対応について、幅広い意見を求めることができた。個別事例への対応だけでなく、地域全体での取り組み・連携の必要性について共有することができた。					
次年度課題	虐待がおきる背景について多問題化しているため、女性、児童、障害との連携がますます必要である。また、地域ケア会議を中学校区ごとに立ち上げるために、関係機関との調整を図っていく必要がある。					
計画	関係各課と連携を図りながら小学校区単位での地域ケア会議を開催	関係機関と連携を図りながら中学校区単位での地域ケア会議を開催	地域ケア会議の評価、充実	地域ケア会議の開催	地域ケア会議の開催	関係各課と連携を図りながら小学校区単位での地域ケア会議を開催
取組実績	地域ケア会議に係る他市町村の状況について研究を行った。					
成果	地域ケア会議とはどのようなものかについて、大枠をイメージすることができた。					
次年度課題	地域ケア会議を中学校区ごとに立ち上げるために、関係機関との調整を図っていく必要がある。					

「摂津みんなで体操三部作」の普及						平成26年度事業費計 10,590千円
老人クラブ、各種サークル活動、デイサービスなどで普及するほか、イベントや各種講座などを通じて、新たなグループづくりの支援を行います。						
平成26年度事業	◇地域介護予防活動支援事業550千円・◇介護予防普及啓発事業984千円(高齢介護課) ◇健康せつ21推進事業9,056千円(保健福祉課)					
			第4期実施計画期間			後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	体操三部作の広報活動の拡充と自主グループの活動支援の強化	体操三部作の広報活動の実施と自主グループの活動支援	体操三部作の広報活動の実施と自主グループの活動支援の実施、評価	体操三部作の広報活動の実施と自主グループの活動支援	体操三部作の広報活動の実施と自主グループの活動支援	体操三部作の広報活動の拡充と自主グループの活動支援の強化
取組実績	いきいき体操の会に依頼し、はつらつ元気アップ教室、健康体操等の講座や、市民体育祭、芸能文化祭などのイベントで三部作の紹介を行った(活動回数704回)。また、自主グループ支援についても依頼し、20グループを支援した。					
成果	高齢者が参加する介護予防教室のみでなく、市民体育祭や芸能文化祭でも三部作を紹介することで、若い世代に対しても周知することができた。また、市民の健康づくりへの関心も大きくなっており、自主グループの立ち上げ支援の希望も多くなってきた。					
次年度課題	自主グループの増加に伴い、支援の方法を検討する必要がある。					